

感 染 症

相双地域感染症発生動向調査週報(2025年第24週)

(令和7年6月9日～令和7年6月15日)

令和7年6月19日

定点報告(上段: 定点当たり／下段: 報告数)、全数報告(報告数)		2025年					2024年	2023年
区 分	疾 病 名	21週	22週	23週	24週	合計	合計	合計
定点報告	インフルエンザ	0.33	0.33	－	－	－	－	－
		1	1	0	0	1,215	1,616	2,660
	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	－	－	0.33	2.00	－	－	－
		0	0	1	6	830	3,622	2,663
	RSウイルス感染症	0.50	0.50	－	－	－	－	－
		1	1	0	0	76	309	425
	咽頭結膜熱	1.00	0.50	2.50	4.50	－	－	－
		2	1	5	9	51	337	129
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	－	2.50	3.00	1.50	－	－	－
		0	5	6	3	146	657	237
	感染性胃腸炎	2.00	2.00	3.50	1.50	－	－	－
		4	4	7	3	410	610	988
	水痘	－	－	－	－	－	－	－
		0	0	0	0	2	6	1
	手足口病	－	－	－	－	－	－	－
		0	0	0	0	5	952	129
	伝染性紅斑	2.50	2.50	3.00	4.00	－	－	－
		5	5	6	8	44	0	8
	突発性発しん	－	1.00	－	－	－	－	－
		0	2	0	0	37	182	266
	ヘルパンギーナ	－	－	－	－	－	－	－
		0	0	0	0	0	19	319
	流行性耳下腺炎	－	－	－	－	－	－	－
		0	0	0	0	8	13	15
	急性出血性結膜炎	－	－	－	－	－	－	－
		0	0	0	0	0	0	0
	流行性角結膜炎	－	－	－	－	－	－	－
		0	0	0	0	1	9	13
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	－	－	－	－	－	－	－
		0	0	0	0	13	1	3
	クラミジア肺炎	－	－	－	－	－	－	－
		0	0	0	0	0	0	0
	細菌性髄膜炎	－	－	－	－	－	－	－
		0	0	0	0	0	0	0
	マイコプラズマ肺炎	－	1.00	－	－	－	－	－
		0	1	0	0	4	16	1
	無菌性髄膜炎	－	－	－	－	－	－	－
		0	0	0	0	0	0	0
	インフルエンザ入院	－	－	－	－	－	－	－
		0	0	0	0	14	19	10
	新型コロナウイルス感染症(入院)	－	－	－	－	－	－	－
		0	0	0	0	23	120	19
	急性呼吸器感染症(ARI)	73.33	82.33	79.67	73.33	－	－	－
		220	247	239	220	2026	－	－
全数報告	侵襲性肺炎球菌感染症	0	0	0	1	1	0	0
	百日咳	5	3	3	3	25	0	0

カラー流行表示は、福島県感染症発生動向調査週報(IDWR)の表示をそのまま表示しています。

定点把握疾患	<u>咽頭結膜熱 と 伝染性紅斑 の 流行</u> が見られます。
全数把握疾患	<u>侵襲性肺炎球菌感染症 1名(幼児)、百日咳 3名(10代3名)</u> の報告がありました。

新型コロナウイルス感染症	相双地域は前週と比較して増加しましたが、県(県内総数)は前週と比較して減少しました。 台湾、中国、東南アジアで新しい変異株の流行が見られているので、渡航の際は注意しましょう。インフルエンザと同様、体調管理や基本的な感染対策をお願いします。
伝染性紅斑	相双地域は前週と比較して増加しましたが、県(県内総数)は前週と比較して減少しました。警報は続いています。 伝染性紅斑は、ヒトパルボウイルスB19による感染症です。感染経路は飛沫感染や接触感染で、約10日の潜伏期間の後、発しんが両頬から体・手・足に拡がります。過去に感染したことのない女性が妊娠中に感染した場合、胎児にも感染し、胎児水腫や流産を生じる場合があるため注意が必要です。予防には手洗いや、マスク着用等の基本的な感染対策が有効です。
咽頭結膜熱	相双地域及び県(県内総数)ともに前週と比較して増加しています。 咽頭結膜熱はアデノウイルスによる感染症です。飛沫・接触感染が主な感染経路となるため、基本的な感染対策を心がけましょう。
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	本県で1名の報告がありました。第24週現在、報告が多かった昨年と同程度で推移しています。 劇症型溶血性レンサ球菌感染症は、血液、筋肉、肺等に侵入したレンサ球菌が、まれに急激な症状の悪化を来す感染症です。初期症状には、発熱、悪寒、四肢の痛み、傷の発赤、腫れが見られます。急速に症状が進行した際は、直ちに医療機関を受診してください。
百日咳	本県で51名の報告がありました。 百日咳菌によって引き起こされる、激しい咳を伴う病気です。特に乳児では重症化のおそれがあり、早期のワクチン接種を推奨します。乳児のいる家庭では、保護者を含めた家庭内の感染に注意しましょう。 感染経路は飛沫感染や接触感染とされており、手洗いやマスクの着用など基本的な感染対策が有効です。

(参考・引用)福島県感染症発生動向調査、感染症週報、2025年第24号